

研究室名	加藤彰研究室 学会発表
------	--------------------

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

発表時期	2024年3月
学会名	公益社団法人自動車技術会関東支部2023年度学術研究講演会
演題名	電気自動車の電費計算モデルの高精度化に関する研究
発表者	○ <u>※</u> 鍾一泓、 <u>※</u> 藤坂世成、 <u>※</u> 加藤開、 <u>※</u> Michael Melkior Kanugroho、 <u>加藤彰</u>
内容	<p>2050年カーボンニュートラル実現のため普及が進められているBEVだが、一充電あたりの走行距離などに課題が存在する。これまでの研究でMatlab/Simulinkを用いて電気自動車の車両モデルを構築し、クルーズ試験から作製したモーター効率マップを用いた数値モデルを組み合わせて電費計算手法を提示した。この結果、市街地においてモーター効率マップの適合不足のため目標である5%の精度に達しなかった。実路における一充電走行距離の向上を目的に、Matlabを用いた電気自動車の数値モデルと交通流シミュレーション（SUMO）を組み合わせて電費向上手法を検討することが有効と考える。</p> <p>本研究では先の研究ではクルーズ試験のみから作製したモーター効率マップをCD(Chassis Dynamometer)を用いて修正し、電気自動車の電費計算モデル精度向上を行った。</p>
関連画像	